

第1章 一関市の将来像

みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関

まちの主演は市民一人ひとりです。一人ひとりが持つ個性や能力を生かしながら、自らが主体となってまちづくりを進めることにより、いきいきとしたコミュニティが生まれ、人もまちも輝きます。

一関市には、人と自然の中で培われた歴史や文化があり、それぞれの地域には、豊かなコミュニティがあります。市民が地域の中で、共に支え合い、助け合いながら、人間としての尊厳を認められることで、生涯にわたり健やかで幸せを感じながら暮らしていくことができます。

また、自然、歴史、文化などの地域資源に加え、市民一人ひとりや市民のネットワークも共に郷土の宝として育み、まちづくりに活用することにより、新たな魅力が生まれ、次世代が誇れるまちになります。

市民一人ひとりの幸せを実現するため「みつけよう育てよう 郷土の宝 いのち輝く一関」を将来像に掲げます。

第2章 将来像を実現するためのまちづくりの考え方

将来像を実現するためには、市民、企業、行政などが協働・連携し、まちづくりに取り組むことが必要です。

そこで、次の4つの考え方でまちづくりを進めていきます。

●「郷土の宝物」 地域資源を活用しよう

先人が守り、築いてきた風土である豊かな自然、歴史、文化や農林産物、鉱工業品及びその生産技術、観光資源などの地域資源は一関市に輝きを与える宝物です。

まちの将来像を実現するため、この地域資源を十分に活用するほか、まだ気づかれていない資源を市民一人ひとりの知恵と工夫により掘り起こし、みがき、活用します。

●「住民主体」 自ら考え共に行動しよう

市民は、(削除あり)まちづくりに主体的に参画します。

行政は、市民がまちづくりについて知り、考え、行動できるような市政を推進し、市民とともにまちづくりに取り組みます。

まちの将来像を実現するため、市民、企業、行政など多様な担い手が、それぞれの立場や責任に応じて相互に協力関係を築き、役割を分担し、共に行動します。

●「次世代支援」 郷土を誇りに思う心を育てよう

まちの将来は次世代が担います。

まち全体で人を育むことは、郷土を誇りに思う心を育み、この誇りが地域づくりを担う気持ちへとつながります。

家庭、学校、企業、地域、行政などそれぞれの持てる力を結集し、人材の育成を図り未来の一関を担う次世代を支援します。

●「安全・安心」 みんなで支え合い暮らしていこう

すべての市民が将来にわたり安全に安心して暮らせることは、まちづくりの根幹となるものです。

行政、関係機関、地域などが協力し合い、安全なまちを実現するとともに、市民同士がつながり、共に支え合うことで、いつまでも安心して暮らすことができます。